



26議委第96号

平成26年12月4日

南会津町議会議長 芳賀沼順一 様

雇用と企業誘致に関する特別委員会

委員長 星 登志一



### 雇用と企業誘致に関する特別委員会報告書

本特別委員会に付託された調査事件について、調査の結果を下記のとおり、会議規則第77条の規定により報告します。

#### 記

平成18年ごろより景気低迷による進出企業の規模縮小や撤退が始まり、町の雇用環境の悪化が心配されるようになった。平成21年6月1日に議員も構成委員となった第1回南会津町緊急雇用対策協議会が発足。一方議会独自の政策を構築すべきとの声もあり、議会独自の調査会を発足。平成23年3月議会の「雇用対策調査特別委員会」の提言を受け、23年6月に発足した「議会雇用と企業誘致に関する特別委員会」は、3年6ヶ月の活動結果を報告申し上げます。

#### 活動経過

24回の委員会を開催し、その間、26ヶ所の関係部署や企業訪問、雇用環境を調査した結果、委員会ではそれを踏まえ、委員の意見交換と議論を重ね今後の方向性を決定いたしました。

#### 確認事項

1. 国・県の助成制度は規模が大きいため、町の規模に合わない例がある。当町にあった助成制度の確立（例 新規就労支援・看護師助成制度・企業誘致委員）
2. 各種制度PR（町民への周知）の徹底
3. 外部アドバイザーの導入

## 部門ごとの確認事項

### (1) 農業部門

- ① 現在町の進めている施策、新規就労者支援事業や、その他研修支援事業などの就労を調査し、さらに就労し易い支援策や環境整備を模索。
- ② トマト農家の後継者及び新規就農者育成  
土地及び住居の優遇措置（磐梯町住宅政策）
- ③ 漢方の里づくり政策（熊本県・奈良県・長野県）  
国の本格的支援事業の活用、会津医療センターとの連携

### (2) 林業部門

- ① 町内 91% を占める森林を生かす事業の可能性を探り、地場産業と位置づけ、南会津郡のリーダーとして郡全体の林業振興を図る。
- ② ろ網整備や機械化を含め人材育成から製品出荷までの総合的計画の作成を図る。
- ③ 林業の価値観を原木としての価値観から、観光や特産品など木や森すべてを利用する 6 次産業化を推進する施策の構築
- ④ 県立田島高校演習林の利活用

### (3) 既存企業支援策

- ① 24 年度より町・ハローワーク・商工会・高校が一体となり企業説明会の開催
- ② 25 年度より雇用・雇用就労支援制度一覧表ができる。
- ③ 定期的訪問による企業の現状把握と対策の実施
- ④ 専門職支援育成制度の確立
- ⑤ 指定管理者への公的事業債の活用と地域総生産（JTR）に基づく積極的支援

### (4) 企業誘致部門

- ① 東京都との連携が生まれ観光産業スポーツ交流の接点ができる。
- ② 道半ば継続的な PR 活動が必要
- ③ 企業誘致委員の PR

### (5) その他

- ① 介護部門の労働力確保
- ② 看護師の育成、介護職員の処遇改善及び育成制度の助成
- ③ 事業評価制度の「P. D. C. A」がまわせる P（計画）作成のための職員研修の強化
- ④ 長期的視野に立った自然を生かした景観づくり

## 総論

行政・議会・住民が情報を共有し一体となり、働く場所づくりを継続的に目指すこと。

### 町民からの委員会に寄せられた意見

#### 1. 町が何かサポート出来ることはありますか。

A社・・・40名位

- (1) 一切期待しない
- (2) ありません
- (3) 企業誘致し職を選べるようにして欲しい
- (4) 町の方向性が見えてこない

##### ①文化・観光を主とするのか

※現在あるもので活性化するためには、文化・観光の視点を持ってほしい

##### ②豊田市の様な企業立地区域にするのか

B社

- (5) サポートを求めるのではなく、町活性化を一緒に考えたい。